

谷口まさのり

所沢市政レポート

2018年3・4・5・6月まとめ編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111/FAX：04-2941-5112

メール：tani.eco@dream.ocn.ne.jp

FB、ツイッター更新中!『谷口まさのり』で検索下さい!



従来からの私自身の政策提言が徐々に実現へ！（3月議会以降の動き）

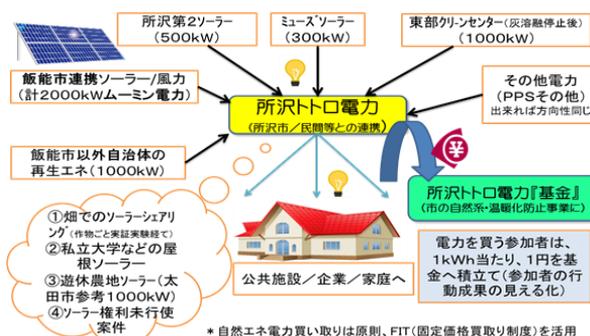
- ①自治体電力（地域新電力）構想が実現！（再生可能エネルギーの導入促進へ！）
- ②東川沿いのサクラ並木の遊歩道、改善提案が実現！（段差解消など、歩きやすい環境へ）
- ③市内大学の留学生と連携した、『インバウンド（訪日外国人観光客）戦略』の推進が実現！
- ④（子育て支援）若い保育士の離職防止対策と負担軽減の為の『ベビーセンサー』導入提言！

◆自治体電力（地域新電力）構想が実現！（更に自然エネルギーの推進を！）

2年前の2016年6月議会において、私なりの構想(下記図)を提言させて頂き、その後、市執行部において、ビジネスモデル、事業リスクや損益計算等を行いながら、進められてきた『自治体電力(地域新電力)』ですが、今回の3月議会で所沢市が、新たに設立される地域新電力会社に51%を出資することが決定され、その後5月24日に、(株)ところざわ未来電力が設立されました。(新会社には所沢市の他、JFE エンジニアリング、飯能信用金庫、所沢商工会議所が出資)

当初は市の公共施設への電力供給からスタートしていく予定です。3月議会の『質疑及び一般質問』で、私は『販売する電力については、清掃工場での廃棄物活用電力の他に、もっと多くの太陽光等の自然エネルギーか

所沢トロ電力構想



らの電源を開発すること。また電力を販売する顧客については、地元所沢に愛着を持ち、所沢市域内でお金が循環していく意義を理解し、かつ地域社会も良くしていくマインドを持つ事業者、市民等を念頭に、その中で、自然(再生可能)エネルギーからの電力を優先的に使用して頂ける層にアプローチすべきで、決して「安売り競争」はしてはいけません。』と提言致しました。

今回の地域新電力への挑戦は、大きな視点で捉えると、首都圏で人口30万人を超える所沢市が日本における『ゆるやかなエネルギー革命』の一翼を担うという意義があると考えます。つまり、中央集権的なエネルギー供給社会から『分散型エネルギーを含む社会』へ移行する過渡期であるということです。今後、多くの壁を乗り越えていく必要がありますが、設立された新会社の動向には大いに注目していきます。

◆東川沿いサクラ並木の遊歩道改善実現！



昨年6月議会で、未舗装部分の遊歩道の段差解消等、歩行に支障が出るような部分の改善を提言しましたが、その後、提言に基づき改善を行ったことが答弁にて確認できました。

やっぱり、自然エネルギーを増やしていかないと...

◆市内大学等(外国人留学生)と連携しての
市内モニターツアーの実施が決定!

↓
稼げる! 所沢市
を目指して!



私は昨年9月議会で、『市内大学の外国人留学生と連携した、外国人目線での新たな観光資源発掘と情報発信の取り組みを!』と所沢市内を巡るミニツアー実施、そして、その感想等を留学生自身よりSNS発信で協力して頂くような取り組みを提言致しました。

今回の3月議会では新規事業として『インバウンド戦略推進事業』が予算化され、その中で留学生等を対象とした『モニターツアー』(50万円)が盛り込まれ、5月に事業がスタート致しました。長い目で見ての今後の成果を期待しております!

【若い保育士の離職防止対策と
昼寝時のベビーセンサー導入を提言】
3月議会において、私は以下の提言を行いました。

①現在行っている、給与の加算補助の処遇改善策と並行して、埼玉県が行っている、勤務年数3年未満の保育士が対象で参加者から好評の『新任保育士向け就業継続支援セミナー』に参加できるように、各保育園に情報提供して参加を促してはどうか?

②子どもの昼寝中、5分間隔や10分間隔で呼吸を確認している保育士の業務上の精神的な負担を少しでも軽くできるよう、補助できる機器(ベビーセンサー)の導入を検討しては? ⇒部長からの答弁:①は今後、県から案内があった段階で市内保育園に情報提供していきたい。②は導入効果や導入した他市の状況を注視していきたい。



(6月議会) 日本初? 『下水熱エネルギー』と『地中熱エネルギー』を
所沢駅西口再開発事業(複合商業施設の空調等)に同時活用を提言!



←谷口『(下水管を流れる下水から間接的に熱エネルギー回収ができる)下水熱と併せて、同様の未利用エネルギーである地中熱を同時に活用できるシステムを実現できれば、未処理下水の下水熱と地中熱を商業施設で利用するという、日本で初めてのケースになるかもしれない。マチごとエコタウン構想を具現化する、このようなチャレンジな取り組みを進めてはどうか?』

藤本市長『提案の実現には多くのハードルが予想されるが、まずは関係各課で可能性について研究を進める一方、商業施設の事業者側にも、下水熱や地中熱の導入について説明し、呼びかけて参りたい。』

谷口まさのり
所沢タウンミーティング

◆日時: 8/26 (日) 15:20~16:45 (無料)

◆場所: 狭山ヶ丘コミュニティセンター 2F (先着18席)

『所沢市でこのような取組をしたら良いのでは?』
あなたのアイデアをお聞かせいただく場です!

ミーティング後は別会場で会費制交流会も予定しております。お気軽にご参加ください。

谷口まさのり プロフィール

- ◆昭和40年 北海道生まれ(留萌市)
- 埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業
- ◆環境や省エネ企業に15年間在籍・1997年の『地球温暖化防止 京都会議』に参加
- ◆2011年4月所沢市議選に初当選、現在2期目
- ◆趣味等: スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はメダカのエサやり◆環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター

『始発男』『始発の谷口』と呼ばれております。

駅では原則、始発前からレポートを配布しております。

